

## 【創世記第36章】

### 「エサウの系図から学ぶこと」

この章はヤコブの兄エサウの系図が記録されています。エサウはヤコブのお兄さんで、大切な“長子の特権”を、食べたい煮豆と簡単に交換してしまうほど、神様から頂く長子の特権をないがしろにしまいました。また、カナンの女の中から妻をめとり、「イサクとリベカにとって心の痛みとなった」（26:34、35）と書かれています。彼らの子孫はエドム人と呼ばれ、主なる神から離れ、やがてイスラエル民族に敵対する民となったのです。幼な子イエスを殺そうとした王ヘロデもエドム人でした。誰と結婚するかという事は非常に大切な事です。その人に人生に大きく影響を与えます。

エサウは人間としては弟ヤコブを赦したり、案外気の優しい人だったかも知れません。また、この世的にも繁栄していたようです。しかし、その価値の基準が世にあるので、神の祝福を軽んじ、アブラハム、イサクに継いで受ける祝福を奪われてしまいました。

私達は「天に登録されている長子たちの教会」にいるのです。家族親族、友人知人が共にこの永遠の祝福に入れますように、あなたがたの愛と祈りと伝道を通して救われてゆきますように！あなたがたの証しが用いられます。

5日には殉教聖会があります。26人のクリシタンが殉教しましたが、その中の最年少ルドビゴ茨木に役人の寺沢半三郎は言いました。「お前がもし私に仕える気があるならば、私の小姓にしてやろう。」このいたいけな弱冠12才の少年を何とか助けたかったのです。ルドビゴは「クリシタンとして今のままの信仰を持ち続けられるならば」と答えますが、半三郎が「クリシタンを捨てるのが条件だ。」という「この地上で大名として取り立てられるよりも、神様のもとで小姓として仕えようございます。お奉行様もどうぞクリシタンにおなりなさいませ。一緒にパライソである天国へ参りましょう。」と答えました。そんなに賢かったわけではなかったようですが、この様な素晴らしい人生観と価値観をはっきり持っていたという事は驚くべきことです。3人の子供を含んだ26聖人は、はるか天の故郷を仰ぎ見て、その信仰が世的な欲望で揺るがされなかったのです。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会  
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven  
主任牧師：イエス・キリスト  
牧師：ダニエル大重

## Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.2.1 No.826

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、  
主のみわざを見るであろう。  
わたしがあなたとともに行うことは  
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10

### 長崎殉教記念聖会

あと5日

2015年2月5日(木)

14時:西坂公園(小雨決行)

18時30分(予定):長崎ブリックホール

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)  
The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

